

山行報告書

受付 No.	187	登山地・ルート	南駒ケ岳～越百岳
目的	歩行トレーニング		
メンバー	大山		
行動記録			

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム			
9・16・日	晴れ	浜松＝伊奈川 [△] Ⓜ [Ⓟ] ～南駒登山口	北沢尾根三角点 (2411m)	南駒ケ岳～	
		5:24	6:28	8:54	10:38
		仙涯嶺～越百岳～越百登山口～伊奈川 [△] Ⓜ [Ⓟ] ＝浜松			
		11:37	12:33	15:11	15:43

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

【駐車場～南駒ケ岳】道の駅大桑で仮眠を取って明るくなる頃にダムに移動する。駐車場は今までで一番混んでいた。三連休だから。登山口まで1ピッチ。4月に来たときの記憶を辿るように登っていく。そろそろ1ピッチ目を切ろうかとした頃、背後で音がして何気なく振り向くと真後ろに人がいて声も出ないくらい驚いた。トレラン姿の男性が、いつから後ろを歩いていたのか、「驚かせるつもりはなかったですけど…」と言って通過する間もまだ声を発することができなかった。出発時は登る気満々だったが、2回目の休憩の頃には想定以上に疲れ、先行きに不安を覚えながら登る。しかし思ったより早く2411mの三角点に到達し元気が出た。2591ピークから何となく秋の色づきを感じる展望を楽しみ南駒へと向かう。2年前に下ったとき、その前年に登ったときより藪が深くなったように感じたが、今回は更に這松などが登山道に覆い被さり、顔までその中に埋もれて藪をかき分けながら進んだ。今回、4月に撤退したところから山頂までどのくらい距離が残っていたのかを確認したくてこのルートを選んだが、積雪期は尾根通しに行ったところも夏道はほとんど巻いていたし、雪がないと印象も随分違う。しかし当時、残りがどのくらいだったかすごく気になって写真を何度も見て岩の形を覚えていたので確認できた。夏道歩きで20分。積雪期のペースだったら小1時間はかかっていたと思っすっきりした。

【南駒ケ岳～越百岳】今回、水を1リットル持ってきたが、南駒までに半分飲んでしまった。稜線に出ると暑くて下山まで水がもつ心配になる。仙涯嶺のコルまで下る。砂礫で滑りやすい。南駒から仙涯嶺を越えて越百まで2ピッチ、口の中まで渴くくらいの渇水状態だが、休憩では口を含めるようにして大切に飲む。行動食のえびせんべいも、口に入れた途端に口の粘膜に張り付いてしまい、水で流し込んだ。あと一口を惜しみつつ水を節約する。

【越百岳～駐車場】越百からは下ったことはあるが登って山頂まで達したことがない。3回敗退している。今回も下りながら越百小屋まで結構距離があるなあと思う。上の水場まで来た時、水を補給しようかと思ったがグループが休憩していたので通過してしまった。上の水場があれば下の水場があるはずと思いながら下るがなかなかない。やせ我慢しなければよかったと後悔。駐車場で飲む分だけ残して下のコルを出発してすぐに水場があった。細い水の流れだが、ボトルに入れると水滴が付くくらいに冷たい。がぶ飲みしてはだめだと思いが止まらない。十分に水を飲んだらこれまでの悲愴感がウソのように消えて駐車場まで戻る。

【恋路の湯】帰りの温泉は定番のところへ行くとつもりだったが、看板を見落としたのか中津川まで出てしまった。仕方ないので中津川のスパリゾートへ向かうが連休で大混雑。温泉なしで帰宅することになる。その後気になってネットで調べてみたら、フォレストスパ木曽の表記の温泉は今年5月で営業終了とか。同施設内の宿泊施設の温泉は入れるらしいので、今度は気をつけようと思う。

紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者
-----	----	----	----	---	---	---	-----



2591 ピークから、何となく秋色の南駒ヶ岳
登山道を藪が覆い隠すが踏み跡ははっきりし
ている



越百へ向かう途中から振り返った仙涯嶺と南
駒ヶ岳。越百の山頂からはもう見えない。



4月に撤収した辺り。大人数の集団とすれ違っ
た



命の水



南駒山頂。周囲の山にはガスがかかってきた



林道の途中に展示？されていた越百小屋の車